

すこやかちゃん



まさのり 真憲ちゃん(平成21年7月3日生)
両親＝佐久間一憲・真理子さん〔東足洗〕
「すべり台すべって自分でパチパチ拍手！
みんなもパチパチしてね！」



ひろと ことね みゆ 寛斗ちゃん・琴音ちゃん・心優ちゃん
(平成19年10月6日生・平成22年4月4日生・平成16年12月6日生)
両親＝加瀬修一・真美さん〔後草〕
「3人仲良し。いつも一緒！」



なつめ 夏芽ちゃん(平成22年7月29日生)
両親＝中西翔太・絵美さん〔二〕
「今からおさんぽ！
ママ、早く行こう♡」

すこやかちゃんを募集しています

掲載を希望する人は、秘書広報課広報広聴班(〒289-2595旭市二の1920・☎62-8070)へ。
対象は、小学校入学前の幼児です。申込用紙は、旭市保健センター、飯岡保健センター、秘書広報課にあります。



ふるさとの自然

12

水辺の宝石 カワセミ

「チツツイー」と鋭く鳴きながら、水面を低く飛んでいくカワセミ。美しい姿から「水辺の宝石」とも呼ばれています。

○宝石の名前の由来

池や沼、川岸などで時々見掛けるカワセミは、スズメぐらいの大きさの小さな鳥です。体の割に大きくくちばしを持ち、飛んだときに背中の水色が目立ちます。漢字ではカワセミを「翡翠」と書きますが、鮮やかなこの色が宝石の翡翠(ヒスイ)の名前の由来にもなっています。

○魚を捕る名ハンター

カワセミの餌は、小魚やザリガニ、水中に住む虫などです。水辺のくいの上や木の枝に止まってじっと水面を見つめ、獲物を見つけると一直線に水中に飛び込んで捕まえます。時には空中の一点に止まって、狙いを付けて飛び込むこともあります。

○土の中に巣作り

カワセミの巣は、川岸などの切り立った崖の土の中に作ります。くちばしを使って、深さが50〜90cmもある穴を横向きに掘っていきます。崖を作るのは、へ



ビなどの天敵が近づきにくいからでしょう。しかし、川岸がコンクリートで固められ、巣作りのできる場所が少なくなり、小学校の校庭に掘ったゴミ捨て用の穴の壁に、巣を見つけたこともあります。

○市内各地で復活

一時は姿を消したカワセミですが、最近では市内のあちこちで姿が見られるようになりました。カワセミはほかの鳥より早い、3月ごろから巣作りを始めます。この時期、オスがメスに魚をプレゼントする姿も見られます。水辺で生きているカワセミを、そっと見守りたいものです。

(齊藤敏一)

暮らしのカレンダー

- 2日(水) 旭中央病院附属看護専門学校卒業式
- 9日(水) 旭農業高校・東総工業高校卒業式
- 12日(土) 二中卒業式
- 15日(火) 市県民税、所得税の申告受け付け締め切り
- 18日(金) 市内小学校卒業式
- 21日(月) 春分の日
- 27日(日) 熊野神社の神楽
- 鎌数伊勢大神宮の神楽(〜28日(月))

編集後記

「市民まちづくり活動支援事業」にも見られるように、今、行政と市民とが協働によるまちづくりを進めようと、各地でさまざまなまちおこしが展開されています。一大ブームの「B級グルメ」もその一つ。食材なら何でもそろえる旭市の魅力を全国に発信して、地元を元気にしよう、市民の方々もいろいろな方策を検討してくれているそうです。

わが家でも、旭産の新鮮な食材を調達しようと、駅前にある「おあがんな旭」を利用しています。しかし出来上がった料理は、残念ながらもまだC級グルメ……。(A)